

北海道マラソン2022

【出場結果】

実施日 : 8月28日(日)

コース : 大通公園西4丁目(駅前通)~中島公園~新川通(折り返し)~北海道大学~
大通公園西4丁目(駅前通)(日本陸上競技連盟、WA/AIMS 公認コース 42.195km)

出場者 : 坪井 響己

リザルト:

LAP ()は5km毎のLAP	坪井
5km	15'38"
10km	30'58" (15'20")
15km	46'43" (15'45")
20km	1:02'31" (15'48")
ハーフ	1:06'03"
25km	1:18'53" (16'22")
30km	1:35'80" (17'05")
35km	1:53'34" (17'36")
40km	2:13'43" (20'09")
GOAL	2:23'45"
順位	40位/16,524名

【レポート】

日本国内で唯一、真夏の8月に開催される北海道マラソンが、東京五輪マラソンコースを含む新コースにリニューアルされ3年振りに開催されました。コロナ禍ではありますが、出場定員も2万人上限とした上で、エリートランナーから市民ランナーまで幅広く出場し、久しぶりに賑わいをみせたマラソン大会となりました。当社からは自身4回目のマラソンとなる坪井が自己ベストの更新(2時間19分49秒)を目標にしてレースに臨みました。



国内所属のエリートランナーを先頭に一斉にスタート

レース序盤からペースメーカーが1km3分5秒前後のペースを刻む中、坪井もしっかりと先頭集団の中でレースを進め、10kmを30分58秒で通過すると、以降も先頭集団が見える位置でピッチを刻み、中間地点であるハーフマラソンを1時間6分3秒の好タイムで通過し、大幅な自己ベストの更新を視野に入れてのレースとなりました。



序盤から中盤にかけて、しっかりとしたピッチでレースを進める坪井

中間地点を通過した後も30km迄は単独走となる中、しっかりとしたピッチでレースを進めましたが、25度を超える気温と向かい風に体力を次第に奪われ、35km以降は急激なペースダウンとなりました。



35km以降は動かなくなった身体を必死に前に進める坪井

35km以降は完全に身体が固まってしまい、ジョギングのようなペースになってしまいました。が、最後まで諦めずにゴールを目指し、総合40位2時間23分45秒でのゴールとなりました。



気力を振り絞りゴールを目指す坪井

【総 評】

夏場のマラソンに向け、月1000km近い距離を走り込み、自信を持って臨んだレースでしたが、35km以降はマラソンの洗礼を浴びた形となり、目標としていた自己記録（2時間19分49秒）からは大きく遅れる結果となりました。

但し、レースの中身としては序盤から先頭集団に食らいつき、30km迄は自己記録更新も視野に入れることが出来ており、課題となった終盤のペースダウンを改善すれば、次回のレースにて大幅な自己記録更新も現実味を帯びてくると考えます。

次回のマラソンは12月に予定しており、大きく成長した坪井の姿に期待したいと思います。

また、チームとしては9月に入り、いよいよ一年の最大の目標とする東日本実業団駅伝が残り2か月に迫って参りました。

当日に最高のパフォーマンスを発揮できるよう、体調管理を第一に、日々の地道な競技活動に邁進して参ります。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。